

第 30 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨
The Minutes of the 30th Administrative Council Meeting

- 日 時 : 平成 23 年 6 月 21 日 (火) 13:30~15:00
Date : June 21, 2011 (Tue) 13:30~15:00
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3A
Venue : Meeting Room 3A
- 出席者 :
 - [学外委員]
石田委員、小野委員、加藤委員、嶋津委員、中邨委員、林委員、早房委員
 - [学内委員]
白石学長、大山理事・副学長、恒川副学長、堀江副学長、ローズ副学長、
金本学長特別補佐、今野学長特別補佐
 - [オブザーバー]
磯谷大学運営局長
- 欠席者 :
 - [学外委員]
工藤委員

I. 審議事項 (Matters Deliberated)

1. 役員報酬規程の改正について (Revision of the Regulations on the Board Members' Compensation)
磯谷大学運営局長から、役員報酬規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
2. 教職員の兼業について (教員就業規則、職員就業規則の改正及び教職員の兼業に関する規程の制定) (Side Job for Faculty Members and Staff of the GRIPS; Revision of the Regulations on the Employment of Faculty Members and Staff of the GRIPS, Enactment of the Regulations on the Side Job for Faculty Members and Staff of the GRIPS)
磯谷大学運営局長から、教員就業規則及び職員就業規則の一部改正並びに教職員の兼業に関する規程の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
3. 契約職員就業規程の改正について (Revision of the Regulations on the Employment of Contract Non-Faculty Staff of the GRIPS)
磯谷大学運営局長から、契約職員就業規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
4. 平成 22 年度決算について (FY 2010 Settlement of Accounts)
磯谷大学運営局長から、平成 22 年度決算について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
5. 平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について (The National University Corporation Performance Report for FY2010)
磯谷大学運営局長から、平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

- ◆ 各委員からの主な発言等は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
 - (○) 一般的に、公的な法人は民間企業に比べて目標設定を低めにする傾向があるので、大概是クリアするものであるが、自己評価をみると、あまりやりすぎではいけないというマインドが働いているように思う。クリアの度合いを判定することは難しい面もあるが、評価されるときにミスジャッジされないよう留意したほうがよい。
 - (△) 第一期(平成16年度～平成21年度)中期目標期間の評価結果において、計画の設定や実施状況の評価について一層適切に実施するよう指摘を受けており、この趣旨を踏まえて自己評価を行ったものである。

6. 平成23年度年度計画の変更について(Revision of the FY2011 Annual Plan)

磯谷大学運営局長から、平成23年度補正予算(第1号)の成立に伴う平成23年度国立大学法人施設整備費補助事業の内示を受けた平成23年度年度計画の変更について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

7. 平成24年度概算要求について(Budget Request Items for FY2012)

磯谷大学運営局長から、平成24年度概算要求予定事項について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

II 報告事項(Matters Reported)

1. 第一期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について(Result of National University Corporation Evaluation for FY2004-FY2009)

磯谷大学運営局長から、第一期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

2. 本学の震災復興対応について(GRIPS' Reaction for Recovery from the East Japan Great Earthquake)

磯谷大学運営局長から、本学の震災復興対応について、資料に基づき報告があった。

- ◆ 各委員からの主な発言等は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
 - (○) 今回の大震災に直面して、改めて情報管理の重要性が国家的課題として明確に示されたと思う。このこととともに、「サイバー(犯罪・テロ)」対策についても、今後、考えて行かなければならない課題であろう。
 - (△) 危機管理については、出来る限りプログラムの内容に組み込む方向で検討したい。
 - (○) GRIPSの政策提言については、政府の動きも見ながら、原発やサイバーの問題も含め、今後、第3弾、第4弾の提言を出していったほうが良い。
 - (△) 防災関係の既存プログラムは土木中心であり、これに政治や経済の要素を加え、GRIPSらしいプログラムを作り上げていきたい。また、政策提言については、本学政策研究センターが中心となって取りまとめたものであり、今後も出せるものと考えている。
 - (○) 今回の震災で、日本の経済基盤の脆弱性あるいは構造的な問題が顕著に認識され、将来を危惧する方々が増えている。経済基盤を構築するための方向性についてもぜひ考えてほしい。
 - (△) 最近の経済誌の論調では、「日本のPolitical Classの失敗」という表現がよく出て来ており、重要なポイントを指摘されていると思う。

ステーツマンの育成については、国会議員の交流だけでは不十分であり、今後は、政治家育成のためのショートコースの開設が必要と考える。
(○) GRIPS でこそ、ぜひ、日本の Critical infrastructure security を考えてほしい。

以上